

日 時：2024年11月24日（日）14:00～15:10

場 所：クリスタルアージュ

参加者：15名

○対話集会でいただいた意見や要望をまとめました。

1 統合そのものについて

- ・市のホームページや広報誌では、1校案を進めると示しているのに、市長からの説明で校数案は決まっていないと説明されたのはなぜか。

【教委コメント】

推進計画（素案）では、1校案と2校案を示しています。これまでの教育委員会の説明では、子どもたちによりよい教育環境を提供するために、1校案が望ましいと考えていると説明しています。現時点で、1校案と決まっているわけではありません。現在は、パブリックコメント等を踏まえて推進計画を作成中です。

- ・推進計画は今年度中に作成されますか。

【市長コメント】

そのつもりです。

- ・当初の説明では最短で4年かかると聞いていた。市長が変わることにより、統合の方針が変わるのなら落ち着かない。
- ・市長が変わることによって、話が振出しに戻るのではと心配している。
- ・統合により、子どもたちがまちから消えていく不安がある。
- ・統合したが、生徒数が増えたため、閉校になった学校が復活した話をきいた。そのような事例があることも伝えてほしい。

【市長コメント】

生徒数が横ばいになる、増加することも考えつつ、一方で現実をみながら検討していきます。

- ・統合がどのように進んでいるのか、状況が分かりにくい。分かりやすく説明してほしい。

【市長コメント】

現在、小学6年生とのことだが、2校にしたとしても間に合わないと思います。

2 統合の進め方について

- ・開校が遅れた場合、何年後になるのか。

【市長コメント】

5年から延びることのないようにしたいと思います。

- ・パブリックコメント後に対話集会を開かれても、何のために開催されたのか、今後どう進むのかわからず、混乱している。

【市長コメント】

1校案ベースに変わりはありませんが、市民の方への十分な説明、対話の機会を設けるために開催しました。6校維持は現実的ではないと考えています。

- ・丁寧に説明すると聞いていたのに、市のホームページや広報誌に情報があがっていなかった。
- ・対話集会に来ることが出来ない方にも理解できるような説明をしてほしい。
- ・市長任期の4年間で決着をつけるようにスピード感をもって進めてほしい。
- ・調査、設計に2年もかかるのか、素人ではわからないため、詳細を広報誌等で書いてほしい。

- ・統合に関して何に主体性を置くかに着目していくべき。財政、通学、まちづくりなど。

【市長コメント】

校数に関わらず、統合により財政負担はかかります。既存校を使うことも考えながら、校数の結論を出さないといけないと思います。

- ・統合の主役は子どもたちなので、子どもたちの意見を聞いてほしい。

【市長コメント】

当事者である子どもの意見を聞くために、1月に中学生の意見を直接聴く場を持ちます。

- ・スピード感をもって進めてほしい。
- ・複数回答することができるアンケートを取り、それに基づき説明してほしい。

【市長コメント】

参考にします。

- ・これまで説明してきたことが崩れているように感じる。これまでを把握し、整理しながら進めてほしい。
- ・これまでの子どもたちへのアンケートを踏まえ、子どもたちを中心に据えて、生徒たちと対話をしてほしい。
- ・統合決定までのプロセスを明確にし、スピーディーに進めてほしい。

【市長コメント】

安芸高田市は地域の教育力がすごくあると思っています。統合後の在り方については、今後検討していきます。

3 校数と位置について

- ・安芸高田市の出生数から考えると2校案は考えられない。2校案が検討の候補とされている理由は。

【市長コメント】

1校案が理想だと思いますが、通学面の負担を考えると、2校案も考えられます。

【参加者コメント】

通学面を重視するのであれば、統合しなくても良いのではないかと。

- ・今ある吉田中の校舎を使う場合、教室数が少なく難しいと聞いたが本当か。

【市長コメント】

詳しい調査をしていないため、不足する教室の数はわかりません。

- ・2校統合で既設校舎を使用する場合、統合時期は早くなるのか。

【市長コメント】

早まる可能性はあります。

- ・1校案の場合、新設 or 既存、2校案の場合、段階統合等、パターンが多く選ぶことが難しいと思う。
- ・1校案の候補地は決まっているのか。

【市長コメント】

1校案は吉田町内としか決まっておらず、事前に土地の所有者への話も必要なため、具体的な場所はこれからになります。既存校舎を使う場合は吉田中学校を考えています。

- ・1校新設の場合、美土里小学校のように個別空間等を整備しやすいと説明されていたが、既存校舎を使う場合はどうなるのか。

【市長コメント】

増築や改築等を考えていきます。

4 生徒数について

- ・吉田中学校では1学年3クラスあったが、市外の高校に進学すると人数の違いによる格差を感じる。このため、中学生の頃から複数学級ある方がモチベーション的にも良いと思う。
- ・統合により生徒数が増えるため、勉強についていけない子どもが増えるのでは。スタサブ等の学習サポートは今後も継続していくのか。

5 不登校について

- ・全国的にみても、不登校になる子ども数が年々、増えてきている。家庭に財力があれば、転校することやフリースクールに通うこともできるが、そうでない家庭は選択することが難しい。
- ・1校統合した場合、閉校になる中学校を不登校特例校とする考えはあるか。

【市長コメント】

具体的には決まっていますが、不登校に対する支援について考えていきます。学校に行くことが全てではないため、不登校の子どもが選ぶことができる環境を作っていきたいと思います。

- ・不登校に対する学習面のサポートとしてオンライン授業をする、授業動画を配信する等、何か考えていることはあるか。

【市長コメント】

不登校については、個々の状況に応じて対応していきます。

- ・1校に統合すると子どもがしんどい時に、転校する選択肢が無くなる。

【市長コメント】

1校に統合した場合、クラス替えができるのが良い点。一方で転校できないことが悪い点。対応として、不登校のための学校の設置やフリースクール等を考えていきます。

6 財政について

- ・統合にはお金がかかるという意見があるため、金額ベースの説明があればよい。

【市長コメント】

お金で教育を考えたくはないですが、1校案の場合、2校案の場合とパターンごとに示すことはできると思います。

7 他市の事例について

- ・想像しやすくなるため、安芸高田市と同じ規模で統合した、他市町の事例を説明してほしい。

【市長コメント】

県内ではそういった事例はないと思います。全国規模で調べてみます。

8 その他について

- ・生徒と市長が対話する時の形式は決まっているのか。

【市長コメント】

詳細は詰めている状況です。何か意見があれば教えてください。

- ・校数に関わらず、統合することで地域の教育力が伝わりにくくなる。学校と地域を繋いでい

くことが課題になる。

- ・所信表明の中にインクルーシブ教育とあったが、既存校舎を使う場合、難しいのでは。

【市長コメント】

具体的にはまだ考えていませんが、インクルーシブ教育ができるような環境を与えていきます。

- ・吉田町の方は、統合に興味がないと思っていたが、通学面以外で色々と意見があることを知った。